

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2024.05.02

No.140



Twitter

申
18
号

中央線・青梅線をはじめとした八王子支社管内各線路の 安全・安定輸送の確保に向けた抜本的な対策を求める申し入れ

交渉開催！

【2月5～6日に発生した輸送障害の時系列】

5日14時14分頃、五日市線1442デにおいて、武蔵五日市～武蔵増戸間にて降雪の影響により**倒竹が発生**し、運転見合わせ。その後も、降雪の影響により**倒竹等が発生**、中央線・青梅線・八高線においても運転見合わせ。

【3月5～6日に発生した輸送障害の時系列】

5日23時40分頃、中央列車線450Mにおいて、日野春～穴山間にて降雪の影響により**倒竹が発生**し、運転見合わせ。その後も、降雪の影響により**倒竹等が発生**したため運転見合わせ。

【3月7～8日に発生した輸送障害の時系列】

8日、計画運休を行い、中央列車線は大月～塩山間、葦崎～小淵沢間について9時頃まで全列車運休と、高尾～大月間の9時頃までの一部列車運休、塩山～葦崎間の9時頃までの大幅な運休とした。また、青梅線では青梅～奥多摩間を9時頃まで全列車運休とした。なお、5時12分頃、中央緩行線498B新宿駅にて人身事故が発生し、5時57分頃、五日市線の550デにて不正落下を認め、確認したところ東秋留～秋川間におけるレール折損と判明、仮復旧を待ち113分延で運転再開。

【議論の特徴点】

組合) 2014年に発生した記録的大雪による輸送障害により大きな教訓をその後の雪害対策に活かしているにもかかわらず、**倒木・倒竹による長時間におよぶ輸送障害が後を絶たず発生している。同じことを繰り返すのではなく、抜本的な対策を実施すべきだ！**

会社) 予報と計画がずれ、倒木・倒竹、現場との情報共有が出来ず、指令がハッキリとした指示を出せなかったことにより、お客さまと現場に苦勞を掛けてしまった。**事前の対策はとれていたが輸送障害が発生してしまった。**

組合) 事前の対策は、何をしているのか？

会社) 敷地外から生えている木・竹の**倒木・倒竹対策としてワイヤーを設置、近接木等を計画的に伐採、添乗により危険箇所を把握し、作業委員を配置した。**

組合) 日頃、乗務員が無線や報告書で**倒木・倒竹の危険性を報告しているが、伐採されていない。また、倒竹箇所**に到着した**作業員が伐採作業をせずに、雪の重みで倒れかけた竹についての雪を払うために竹を蹴ったり揺らしたりしていた。**これでは再度降雪した際等に繰り返し倒竹が発生してしまう。対処ではなく、対策をするべきだ。

会社) 倒木・倒竹対策の伐採は**限られた予算の中で優先順位を決めて行っている。**優先順位は、線区の重要度から決めている。現場には必ずしも「木こり」がいる訳ではないため、その場で伐採出来ない場合もある。**より現場の状況を確認するためには、乗務員から状況報告が必要である。**

組合) **同じことを繰り返さないために対処ではなく、抜本対策を行うべきだ。**

確認！

「引き続き…」との回答が繰り返され、**支社の本気度を一切感じない回答ばかりだ。**

会社) **繰り返しの事象を起こさないように努めているが、予算の関係は理解して欲しい。**

対立！

繰り返される輸送障害に対して

「対策」ではなく「対処」を繰り返す安全軽視の会社姿勢を糺し、安全で安心して働くことができる労働環境確保を求めて声を上げ続けていこう！